

2009年3月期第2四半期(2008年9月) 連結決算発表総合表

2008年10月29日
 双日株式会社

決算の主要特徴点

売上高、売上総利益、経常利益、当期純利益ともに順調に推移し、前年同期比増収増益となった。
 (括弧内は前年同期比)

売上高 2兆9,051億円 (+1,026億円/+3.7%)
 ・エネルギー・金属資源の取扱い伸長
 ・食糧の取扱い伸長
 ・海外現地法人の減少

売上総利益 1,437億円 (+94億円/+7.0%)
 ・エネルギー・金属資源が好調
 ・海外肥料関連事業が好調
 ・不動産市況悪化により建設が減少

経常利益 555億円 (+23億円/+4.3%)
 ・金利収支の改善、受取配当金の増加による金融収支の改善
 ・持分法による投資利益の減少

当期純利益 359億円 (+5億円/+1.4%)
 ・特別損益ネット後の税引前当期純利益が増加

長期コミットメントラインの設定
 資金調達構造の安定性を更に強化するため、2008年9月にシンジケート方式による「リボルビング・クレジット・ファシリティ契約」を締結し、1,000億円の長期コミットメントラインを設定

2009年3月期 業績見通し

通期の業績見通しを下記の通り修正

09/3期通期見通し

	4/30見通し	10/29見通し
売上高	5兆 8,000億円	5兆 8,000億円
営業利益	950億円	900億円
経常利益	1,000億円	950億円
当期純利益	600億円	600億円

(前提条件)
 ・為替レート(¥/US\$) : 100
 ・原油(Brent)価格(US\$/BBL) : 90

2009年3月期配当

普通株式に対する配当
 中間配当 : 1株当たり 4円 50銭
 期末配当(予想) : 1株当たり 4円 50銭

要約損益計算書

	当第2四半期			前年同期		左記 部分の摘要	当期通期見通し	
	実績 a	第1 四半期	第2 四半期	実績 b	増減 a-b		c	進捗率 a/c
売上高	29,051	14,072	14,979	28,025	1,026	売上高 エネルギー・金属資源セグメント +1,704 生活産業セグメント +457 海外現地法人 -1,283	58,000	50%
売上総利益 (売上総利益率)	1,437 (4.95%)	685 (4.87%)	752 (5.02%)	1,343 (4.79%)	94 (0.15%)	売上総利益 エネルギー・金属資源セグメント +97 機械・宇宙航空セグメント +49 建設・木材セグメント -47	2,800 (4.83%)	51%
人件費	-440	-216	-224	-425	-15			
物件費	-405	-195	-210	-387	-18			
減価償却費	-28	-13	-15	-37	9			
(小計)	(-873)	(-424)	(-449)	(-849)	(-24)			
貸倒引当金繰入・貸倒償却	-38	-12	-26	-12	-26			
のれん償却額	-26	-13	-13	-25	-1			
(販管費計)	(-937)	(-449)	(-488)	(-886)	(-51)			
営業利益	500	236	264	457	43		900	56%
(営業利益率)	(1.72%)	(1.68%)	(1.76%)	(1.63%)			(1.55%)	
受取利息	57	30	27	73	-16			
支払利息	-146	-74	-72	-171	25			
(金利収支)	(-89)	(-44)	(-45)	(-98)	(9)			
受取配当金	42	22	20	24	18			
(金融収支)	(-47)	(-22)	(-25)	(-74)	(27)			
持分法による投資利益	118	67	51	166	-48	ニッケル生産会社(-18)、 農薬関連会社売却による減少(-16)		
その他営業外収支	-16	4	-20	-17	1			
(営業外収支計)	(55)	(49)	(6)	(75)	(-20)		50	110%
経常利益	555	285	270	532	23		950	58%
固定資産売却益	43	0	43			ガス田売却益等		
投資有価証券売却益	44	5	39			関係会社及び海外上場株式売却益等		
貸倒引当金戻入額	9	3	6					
償却債権取立益	1	1	0					
関係会社整理益	12	-	12					
(特別利益小計)	(109)	(9)	(100)	(102)	(7)			
固定資産除売却損	-3	-1	-2					
減損損失	-21	0	-21					
投資有価証券等評価損	-22	-2	-20					
関係会社等整理・引当損	-32	-14	-18					
事業構造改善損	-1	-	-1					
たな卸資産評価損	(-54)	-54	-			会計基準変更に伴うマンション等期首在庫評価損		
(特別損失小計)	(-133)	(-71)	(-62)	(-112)	(-21)			
(特別損益計)	(-24)	(-62)	(38)	(-10)	(-14)		-50	-
税引前当期純利益	531	223	308	522	9		900	59%
法人税等	-130	-54	-76	-100	-30			
法人税等調整額	-3	9	-12	-39	36			
少数株主利益	-39	-15	-24	-29	-10			
当期純利益	359	163	196	354	5		600	60%
基礎的収益力	609	293	316	561	48			

(注1) 基礎的収益力
 基礎的収益力 = 営業利益(貸倒引当金繰入・貸倒償却控除前)
 +金利収支+受取配当金+持分法による投資利益

(注2) 将来情報に関するご注意
 上記の業績見通しは、現在入手可能な情報から当社が現時点で合理的であるとした判断、および仮定に基づいて算定しております。従い、実際の業績は、内外主要市場の経済状況や為替相場の変動などさまざまな重要な要素により、記載の見通しとは大きく異なる可能性があります。重要な変更事象等が発生した場合は、適時開示等にてお知らせします。

要約貸借対照表と主要経営指標

	08/9月末			08/3月末			左記 部分の摘要
	残高 d	残高 e	増減 d-e	残高	残高	増減	
流動資産	17,702	16,760	942				
現金及び預金	4,166	3,802	364				
受取手形及び売掛金	7,101	6,915	186			石油、金属資源等取引伸長による増加	
有価証券	67	92	-25				
たな卸資産	4,520	4,222	298			肥料、石油等取扱い伸長による増加	
短期貸付金	131	116	15				
繰延税金資産	214	192	22				
その他の流動資産	1,641	1,560	81				
貸倒引当金	-138	-139	1				
固定資産	9,682	9,909	-227				
有形固定資産	2,233	2,320	-87				
のれん	637	655	-18				
無形固定資産	791	679	112			石油権益等の増加	
投資有価証券	4,529	4,810	(-281)			株価下落による減少	
長期貸付金	331	370	-39				
固定化営業債権	1,032	1,094	-62				
繰延税金資産	371	310	61				
その他の投資	458	444	14				
貸倒引当金	-700	-773	73				
繰延資産	21	25	-4				
資産合計	27,405	26,694	711				
流動負債	12,944	13,835	-891				
支払手形及び買掛金	6,014	5,790	224			肥料、石油等取引伸長による増加	
短期借入金	3,879	4,972	(-1,093)			長期資金シフトに伴う減少	
コマーシャル・ペーパー	360	250	110				
1年内償還予定の社債	264	751	-487				
その他の流動負債	2,427	2,072	355				
固定負債	9,457	7,656	1,801				
社債	1,651	1,415	236			普通社債の発行(+400)、1年内組替(-164)	
長期借入金	7,177	5,603	1,574			長期資金へのシフトによる増加	
退職給付引当金	172	194	-22				
その他の固定負債	457	444	13				
負債合計	22,401	21,491	910				
資本金	1,603	1,603	-				
資本剰余金	1,522	1,522	-				
利益剰余金	1,657	1,392	265			当期純利益(+359)、支払配当(-56)、会計基準変更の影響(-37)	
自己株式	-1	-1	0				
(株主資本)	(4,781)	(4,516)	(265)			株価下落による減少	
その他有価証券評価差額金	442	603	(-161)				
繰延ヘッジ損益	-21	13	-34				
土地再評価差額金	-25	-25	-				
為替換算調整勘定	-621	-347	(-274)			円高に伴う海外関係会社の換算差額	
(評価・換算差額等)	(-225)	(244)	(-469)				
少数株主持分	448	443	5				
純資産合計	5,004	5,203	-199				
負債純資産合計	27,405	26,694	711				

GROSS 有利子負債	13,331	12,991	340	
NET 有利子負債	9,165	9,189	-24	
NET 負債倍率	2.01倍	1.93倍	0.08倍	NET負債倍率の分母及び自己資本比率の分子は、少数株主持分を除いて計算しております。
自己資本比率	16.6%	17.8%	-1.2%	

2009年3月期 第2四半期(2008年9月) 連結決算発表総合表 補足資料(1) - 事業セグメント別売上総利益・経常利益実績 -

2008年10月29日

双日株式会社

(単位: 億円)

	売上総利益				経常利益			
	08/9期	07/9期	(増減)	主な増減理由	08/9期	07/9期	(増減)	主な増減理由
	実績	実績			実績	実績		
機械・宇宙航空	391	342	49	<ul style="list-style-type: none"> 自動車は中南米地域、ロシアNIS地域、双日本体での中近東向け取引が順調により増益(+42) 情報機電はプラント機器取引の増加により増益(+20) 船舶は保有船事業、機器取引等全般的に好調で増益(+13) 航空機はボーイング関連の代行取引減少により減益(-13) 	129	106	23	<ul style="list-style-type: none"> 自動車は中南米地域、ロシアNIS地域、双日本体での中近東向け取引が順調により増益 情報機電はプラント機器取引の増加により増益 船舶は保有船事業、機器取引等全般的に好調で増益 航空機はボーイング関連の代行取引減少により減益
エネルギー・金属資源	298	201	97	<ul style="list-style-type: none"> 一般的に市況価格高騰により増益 石油・ガス(+58) 石炭(+38) 金属資源(+11) 	249	190	59	<ul style="list-style-type: none"> ニッケルの価格下落による持分法投資利益の減益などもあるが、一般的に市況が高値で推移し増益
化学品・合成樹脂	320	284	36	<ul style="list-style-type: none"> 肥料は販売好調により増益(+62) メタノールは市況が高値で推移したが、定期修理により販売数量が減少し減益(-19) 	138	107	31	<ul style="list-style-type: none"> 売上総利益の増益
建設・木材	43	90	▲ 47	<ul style="list-style-type: none"> 建設は不動産市況の悪化により大幅減益(-63) 木材は子会社の統廃合などにより売総率が改善し増益(+16) 	▲ 64	2	▲ 66	<ul style="list-style-type: none"> 建設は売上総利益の減益 木材は売上総利益の増益
生活産業	161	188	▲ 27	<ul style="list-style-type: none"> 繊維は再構築に伴う事業撤退等により減益(-37) 食料は小麦等穀物の相場高騰に伴う増益(+10) 	▲ 39	4	▲ 43	<ul style="list-style-type: none"> 繊維は再構築に伴う事業撤退等により減益
海外現地法人	132	139	▲ 7	<ul style="list-style-type: none"> 米州は機械関連取引、金属資源関連取引は順調なるも円高の影響により減益(-7) 	59	66	▲ 7	<ul style="list-style-type: none"> 主に米州での売上総利益の減益
その他	92	99	▲ 7	<ul style="list-style-type: none"> 産業情報グループでの一部事業撤退に伴う減益(-4) 	83	57	26	<ul style="list-style-type: none"> 主にコーポレートでの為替換算益による増益
合計	1,437	1,343	94		555	532	23	

2009年3月期 第2四半期(2008年9月) 連結決算発表総合表 補足資料(2) - 通期見直し -

2008年10月29日
双日株式会社

(単位: 億円)

P/L

	08/9期 実績	07/9期 実績	増減	09/3期見直し (08/4/30公表)	進捗率
売上高	29,051	28,025	+ 1,026	58,000	50.1%
売上総利益	1,437	1,343	+ 94	2,850	50.4%
(売上総利益率)	(4.95%)	(4.79%)		(4.91%)	
機械・宇宙航空	391	342	+ 49	750	52.1%
エネルギー・金属資源	298	201	+ 97	480	62.1%
化学品・合成樹脂	320	284	+ 36	510	62.7%
建設・木材	43	90	▲ 47	235	18.3%
生活産業	161	188	▲ 27	400	40.3%
海外現地法人	132	139	▲ 7	260	50.8%
その他	92	99	▲ 7	215	42.8%
販管費	▲ 937	▲ 886	▲ 51	▲ 1,900	49.3%
営業利益	500	457	+ 43	950	52.6%
(営業利益率)	(1.72%)	(1.63%)		(1.64%)	
営業外損益	55	75	▲ 20	50	110.0%
経常利益(1)	555	532	+ 23	1,000	55.5%
(経常利益率)	(1.91%)	(1.90%)		(1.72%)	
機械・宇宙航空	129	106	+ 23	245	52.7%
エネルギー・金属資源	249	190	+ 59	370	67.3%
化学品・合成樹脂	138	107	+ 31	135	102.2%
建設・木材	▲ 64	2	▲ 66	110	-
生活産業	▲ 39	4	▲ 43	25	-
海外現地法人	59	66	▲ 7	90	65.6%
その他	83	57	+ 26	25	332.0%
特別損益	▲ 24	▲ 10	▲ 14	▲ 100	-
税引前当期純利益	531	522	+ 9	900	59.0%
当期純利益	359	354	+ 5	600	59.8%
基礎的収益力(2)	609	561	+ 48	1,000	60.9%

経常利益の足元の状況

第2四半期決算実績(累計)は555億円と順調に進捗したが、経済環境悪化の影響を考慮し、通期見直しを下方修正

【機械・宇宙航空】

・上期は自動車、情報機電、船舶を中心に好調に推移したが、下期は新興国の経済環境悪化の影響により、期初見直しに対し下振れる見込み

【エネルギー・金属資源】

・市況は軟化傾向であるが、上期まで高値で推移したため、期初見直しに対し超過達成の見込み

【化学品・合成樹脂】

・季節要因等により下期、肥料事業は減速となるが、上期までの販売好調により、期初見直しに対し超過達成の見込み

【建設・木材】

・不動産市況悪化に伴う採算悪化の影響により、期初見直しに対し大幅に下振れる見込み

【生活産業】

・繊維事業再構築に伴う事業撤退等の影響により、期初見直しに対し大幅に下振れる見込み

【海外現地法人】

・概ね見直し通り

【その他】

・資金調達コストの改善等

09/3期修正見直し (08/10/29公表)
58,000
2,800
(4.83%)
760
530
520
150
360
260
220
▲ 1,900
900
(1.55%)
50
950
(1.64%)
220
430
180
▲ 80
▲ 30
90
140
▲ 50
900
600
1,040

(1) 経常利益の事業セグメント別内訳は社内管理ベースの参考数値です

(2) 基礎的収益力 = 営業利益(貸倒引当金繰入・貸倒償却控除前) + 金利収支 + 受取配当金 + 持分法による投資利益

B/S

	08/9末	08/3末	増減	09/3末見直し
総資産	27,405	26,694	+ 711	27,000
自己資本(3)	4,556	4,760	▲ 204	4,500
(純資産合計)	(5,004)	(5,203)	(▲ 199)	-
自己資本比率(%)	16.6%	17.8%	▲ 1.2%	16.7%
ネット有利子負債	9,165	9,189	▲ 24	9,500
ネットDER(倍)	2.0	1.9	+ 0.1	2.1
(ネットDER(倍) 純資産合計ベース)	(1.8)	(1.8)	-	-

(3) 自己資本 = 純資産の部合計 - 少数株主持分